

「意図しない緊急通報」

先日のニュースで「意図しない緊急通報」というのが取り上げられていた。最近のスマートフォンやスマートウォッチの中には、転倒や衝突を自動的に検出する機能が備わっているものがある。緊急時、自分では通報できないときに自動的にかけてくれるものだ。確かに緊急時は意識がなかったり、身体が動かなかったりするので、早急な通報により、命を救うことにつながると期待される。こうした機能を持つスマートフォンやスマートウォッチはメーカーを問わずに存在するという。

ただ、ある地域の消防本部では、自動通報が83件あったが、そのうち出動が必要だったのはたった1件だったという。どれも本人が意図しない緊急通報なのだ。その大半がスキー場からの通報。例えば、スキーをしていて転んだ。強い衝撃はあったとしても、本人は怪我などしていない。でも、機器が緊急事態として感知してしまうと、本人が知らないうちに通報されている。もちろん通知音は出るのだろうが、知人からのメールかなと思いき、すぐにスマホやスマートウォッチの画面を見ないこともある。消防側も何があったのか知るために折り返し電話をかけるが、出てくれない場合も多いという。便利になる一方で、思いも寄らぬ影響が出る。もし、スマホなどを持っていたら、その機能があるかどうか確認した方がいいだろう。

また、119番の緊急通報については、本当に緊急なのかと思われるような事案も多いという。緊急だと判断したら躊躇なく呼ぶことは大切なことだが、そうでない場合に通報すると、本当に必要とする人に影響が出てしまうこともある。もし、「救急車を呼んだ方がよいか」、「今すぐ病院に行った方がよいか」など、判断に迷ったときに、「#7119」に電話することで、救急電話相談を受けることができる。ここに寄せられた相談は、医師、看護師、トレーニングを受けた相談員等が電話口で傷病者の状況を聞き取り、「緊急性のある症状なのか」や「すぐに病院を受診する必要があるか」等を判断してくれるという。

1月16日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 100点満点の数学のテストを行いました。合格点を70点として集計したところ、120名の生徒のうち75名が合格、45名が不合格でした。合格者の平均点と不合格者の平均点を算出したところ、その差は40点でした。合格者の平均点を求めなさい。